

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年5月14日(2020.5.14)

【公表番号】特表2019-528271(P2019-528271A)

【公表日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【年通号数】公開・登録公報2019-041

【出願番号】特願2019-508842(P2019-508842)

【国際特許分類】

A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/275	(2006.01)
A 6 1 P	31/20	(2006.01)
A 6 1 K	35/76	(2015.01)
C 1 2 N	15/39	(2006.01)
C 1 2 N	15/40	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	48/00	Z N A
A 6 1 K	39/275	
A 6 1 P	31/20	
A 6 1 K	35/76	
C 1 2 N	15/39	
C 1 2 N	15/40	

【手続補正書】

【提出日】令和2年4月3日(2020.4.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

チクングンヤ熱とジカウイルスと天然痘の感染のリスクを低減する、免疫応答を、動物において惹起するための組成物であって、該組成物が、医薬的に許容される担体及び弱毒化したポックスウイルスを含み、該ポックスウイルスのゲノムが、チクングンヤ熱ウイルスの26Sサブゲノムポリプロテインをコードする核酸配列、及びジカウイルスのPrMEポリプロテインをコードする核酸配列を含む、組成物。

【請求項2】

チクングンヤ熱と天然痘の感染のリスクを低減する、免疫応答を、動物において惹起するための組成物であって、該組成物が、医薬的に許容される担体及び弱毒化したポックスウイルスを含み、該ポックスウイルスのゲノムが、チクングンヤ熱ウイルスの26Sサブゲノムポリプロテインをコードする核酸配列を含み、内在的な必須の集合、成熟タンパク質をコードする遺伝子の欠失を更に含み、及び／又は組成物の免疫原性を増大させる、組成物。

【請求項3】

ジカウイルスの感染と天然痘の感染のリスクを低減する、免疫応答を、動物において惹起するための組成物であって、該組成物が、医薬的に許容される担体及び弱毒化したポックスウイルスを含み、該ポックスウイルスのゲノムが、ジカウイルスのPrMEポリプロテインをコードする核酸配列を含み、内在的な必須の集合、成熟タンパク質をコードする遺伝子の欠失を更に含み、及び／又は組成物の免疫原性を増大させる、組成物。

**【請求項 4】**

前記弱毒化したポックスウイルスが、改変ワクシニアアンカラ（MVA）、NYVAC、アビポックス、カナリアポックス及び鶏痘からなる群から選択される、請求項1～3のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 5】**

前記弱毒化したポックスウイルスが改変オルトポックスウイルスであり、前記改変が、内在的な必須の集合、成熟タンパク質をコードする少なくとも1つの遺伝子の欠失を含み、及び／又は組成物の免疫原性を増大させる、請求項1に記載の組成物。

**【請求項 6】**

前記改変がD13L遺伝子の欠失を含む、請求項5に記載の組成物。

**【請求項 7】**

前記改変がK1L遺伝子の欠失を含む、請求項5又は請求項6に記載の組成物。

**【請求項 8】**

前記改変がA39R遺伝子の欠失を含む、請求項5～7のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 9】**

前記改変がB7R-B8R遺伝子の欠失を含む、請求項1～3のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 10】**

前記改変がD13L遺伝子、A39R遺伝子及びB7R-B8R遺伝子の欠失を含む、請求項5に記載の組成物。

**【請求項 11】**

前記医薬的に許容される担体がアジュバントを含む、請求項1～10のいずれか一項に記載の組成物。

**【請求項 12】**

前記アジュバントが水酸化アルミニウム、リン酸アルミニウム、硫酸アルミニウムカリウム、水酸化リン酸カルシウム、フロイント完全アジュバント、フロイント不完全アジュバント、iscom及びiscomマトリクスからなる群から選択される、請求項11に記載の組成物。

**【請求項 13】**

チクングンヤ熱と天然痘、天然痘とジカウイルスの感染及び／又はチクングンヤ熱と天然痘とジカウイルスの感染に対する、被検体における防御免疫応答の誘導において使用するための、請求項1～12のいずれか一項に記載の組成物。